

# 特集 1号突堤による景観改善と2号新堤の整備

## 1号突堤の整備による景観改善

世界文化遺産「富士山」の構成資産にふさわしい景観改善と海岸保全を両立させるため、1号消波堤の置き換え施設となる1号突堤が2019(H31)年3月に完成しました。その後、平成31年度より景観の阻害要因となっている消波ブロックの段階的な撤去を進めています。



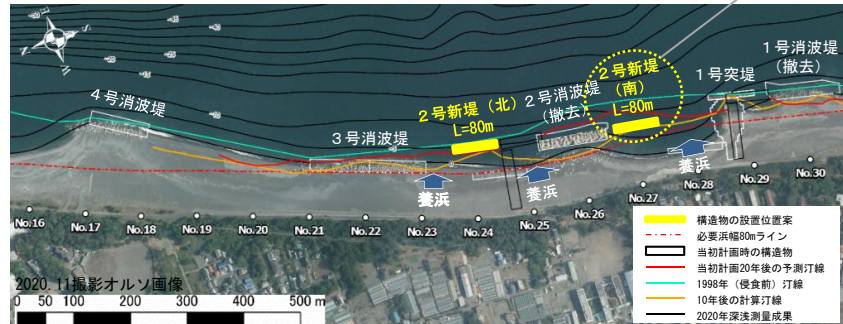
1号突堤の設置状況



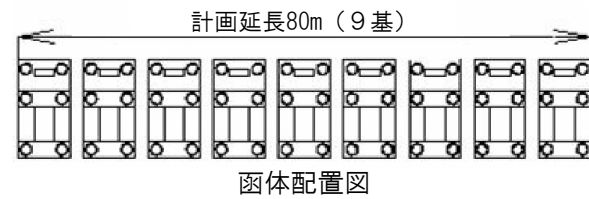
1号消波堤撤去に伴う景観モニタリング (ブロックの段階的な撤去実施前後の変化)

## 2号新堤の整備に向けて

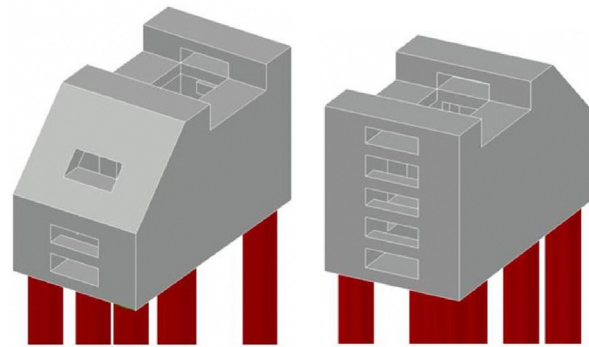
2号消波堤の景観改善として、代替施設となる2号新堤の整備に向けて検討を実施しています。



2号新堤の設置位置



函体配置図



函体3Dイメージ

### 2号新堤整備に向けた今後のスケジュール

|            | 2022年度 |    |   | 2023年度 |   |   | 2024年度 |   |       | 2025年度～ |    |    |            |           |   |
|------------|--------|----|---|--------|---|---|--------|---|-------|---------|----|----|------------|-----------|---|
|            | 1      | 2  | 3 | 4      | 5 | 6 | 7      | 8 | 9     | 10      | 11 | 12 | 1          | 2         | 3 |
| 2号新堤(南)の整備 | 入札手続き  | 設計 |   |        |   |   |        |   | 製作・施工 |         |    |    |            |           |   |
| 2号新堤(北)の整備 |        |    |   |        |   |   |        |   |       |         |    |    | 計画検討～入札手続き | ～設計～製作・施工 |   |

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



静岡県静岡土木事務所工事第2課

〒422-8031 静岡市駿河区有明町 2-20  
 TEL 054-286-9157 FAX 054-286-9100  
 URL <https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/dobokujimusho/shizuokadoboku/index.html>  
 E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

●静岡土木事務所工事第2課 令和6年2月発行



# 波音

NAMIOTO VOL. 21  
清水海岸だより

### 特集

- ・三保松原の景観を後世に引き継ぐために
- ・1号突堤による景観改善と2号新堤の整備

富士山の世界文化遺産への登録から10年を迎えました

三保松原は、世界文化遺産「富士山」の構成資産として登録されています

# 特集 三保松原の景観を後世に引き継ぐために

平成25年6月に「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産として世界文化遺産への登録が決定してから10周年を迎えました。清水海岸では、激しい海岸侵食から背後地の人々の生活を守るとともに、雄大な富士山の前に広がる白い砂浜と青い松の織りなす美しい景観を守るため、学識経験者、地元関係者、関係団体、行政関係者が協力して問題の解決に取り組んでいます。

## 景観の改善

富士山の世界文化遺産登録過程におけるイコモスからの景観面での指摘を重く受け止め、防護と景観を高い次元で調和させることにより、文化財としての新たな価値を創造することを目指しています。

- 2013(H25)年4月  
イコモスから、富士山からの距離を理由に「三保松原」を構成資産から除外するよう勧告を受けるとともに、消波堤が景観上望ましくないとの指摘を受ける
- 2013(H25)年6月  
ユネスコ世界遺産委員会で、「三保松原」も構成資産に含む形で、「富士山」が世界文化遺産として登録決定
- 2013(H25)年8月「三保松原白砂青松保全技術会議」設立  
世界文化遺産構成資産にふさわしい、景観と防護が調和する新たな海岸の姿を実現するため、近藤元文化庁長官を座長とする技術会議を設立し、海岸工学や景観・文化財保護などの多角的な視点から提案・助言を受ける



景観上の問題が指摘された消波堤 (2013(H15)年12月撮影)



多くの観光客でにぎわう砂浜

### 目指すべき海岸の姿

基本理念：「背後地の防護」と「芸術の源泉にふさわしい景観」の両立

**【防護】** 現在の防護水準※を確保  
50年に1回の波浪に対して背後地への越波を防ぐとともに、想定される津波から背後を防護する  
※防護水準：越波を防ぐために必要な砂浜幅80m以上を確保すること

**【景観】** 絵画などに描かれた景観を回復  
世界文化遺産構成資産としての本質的価値である「富士山、松原、砂浜、海」の組み合わせにより景観を構成する



2013(H25)年台風26号

和田英作 松原富士 (昭和29年)

### 段階的に進める景観改善対策

- 短期対策**  
羽衣の松周辺から視認性が高い1号・2号消波堤の景観改善を優先的に実施※
  - 中期対策**  
2号消波堤から北側の海浜変形等をモニタリングしながら対策を順次検討する
  - 長期対策**  
安倍川などから供給される土砂のみにより砂浜が維持される、持続的な海岸の実現を目指す
- ※対策の効果として砂浜幅80mの防護水準の確保が認められた段階で1号消波堤、2号消波堤の撤去を検討する



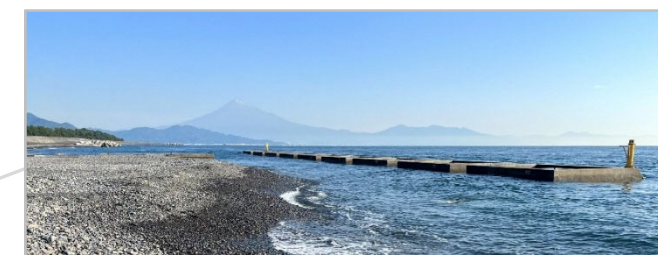
景観に配慮した最小限の施設と養浜の組み合わせにより、防護機能の確保と景観の両立を図ります

## 10年間の取り組み

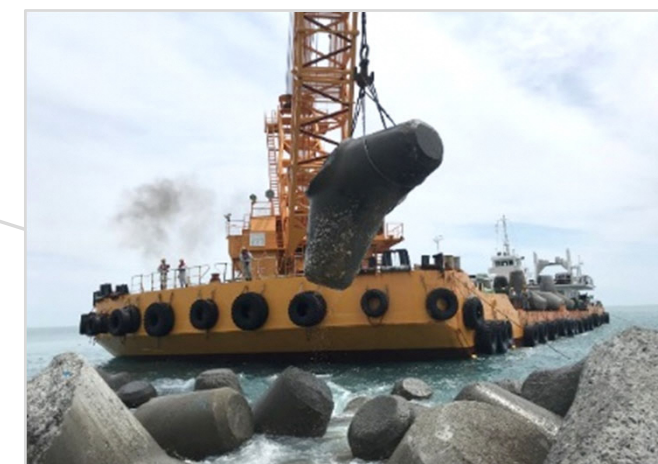
- 2013(H25) ● **三保松原白砂青松保全技術会議**
  - ・消波堤に代わる工法の検討 (H25)  
防護・景観・利用・施工性・コスト等を踏まえ消波堤に代わる工法を比較検討
- 2014(H26) ●
  - ・シミュレーションでの検証 (H26)  
望ましい工法の選定  
突堤の形状、養浜量の検討
  - ▶ 「消波堤に代わる突堤への置き換えと養浜5万m<sup>3</sup>/年の組み合わせを基本」とすることが決定
  - ・1号突堤の配置、構造の選定 (H26)
- 2015(H27) ● **三保松原景観改善技術フォローアップ会議**
  - ・モニタリング計画の検討 (H27～)  
防護や景観などのモニタリング計画を検討
  - ・養浜盛土形状の検討 (H27)  
景観に配慮した養浜盛土形状の検討
- 2016(H28) ●
  - ・1号消波堤撤去の検討 (H28)
  - ・1号突堤の整備 (H28～30)
  - ・2号新堤設置の検討 (R1～)  
配置、構造の検討
- 2019(R1) ●
  - ・1号消波堤撤去 (撤去レベルa) (R1)
- 2020(R2) ●
  - ・1号消波堤撤去 (撤去レベルb1) (R2～)
- 2022(R4) ●
  - ・2号新堤周辺を対象とした養浜盛土の検討 (R4～)  
景観に配慮した養浜盛土形状の検討



第9回三保松原景観改善フォローアップ会議



1号突堤の完成後の状況 (2023(R5)年11月撮影)



段階的な消波ブロックの撤去 (1号消波堤)

### 景観に配慮した養浜盛土の検討

富士山を望むうえで養浜盛土が新たな景観阻害とならないよう、養浜盛土は景観に配慮し、人工構造物の視認性を低下させるように工夫しています



養浜盛土実施前



養浜盛土実施後のフォトモンタージュ

散乱ブロックが養浜盛土によって見えなくなり景観が改善

養浜盛土実施前後の比較